

フクシマ連隊キャラバン報告書

全港湾東北地方小名浜支部 佐藤龍哉

私は、3月6日から7日の2日間フクシマ連隊キャラバンに参加してきました。

茨城要請行動では、コースごとに別れて各市町村を回り、要請文を読み、質疑応答の時間をもらい意見をぶつけてきました。その中で各市町村、様々な考えがありお話し頂きましたが、東海第二原発の再稼働に対して、考え方に開きがあると感じました。それは避難計画について、作成済みだが、これから実効性を高めるなど、計画が濃いものではなくとりあえず作ったと感じてしまうところ、複合災害をふまえて対策の再構築を始め、しっかり前進しているところ、まだ作成中のところ様々でした。各市町村で、人口や地形など違いがあるが、人命が最優先と考えることから、慎重かつ迅速に作成する必要があると私は思います。しかし、原発を再稼働させなければ全て必要のないものです。

まずは脱原発、再稼働反対を強く主張して頂きたいです。また、キャラバン隊が毎年のように、強く訴えているのに関わらず、ここまで開きがあるのは、悲しさを感じるとともに、もっと強く原発の恐ろしさを、伝えていかなければならないと思いました。

今回私は、キャラバン初参加でしたが、周りの参加者の熱さに驚かされました。地元で起こったことではないことに、これほど熱くなれる仲間を誇りに思います。そんな熱い仲間と共に、地元としてさらに熱い想いをもち今後のキャラバン活動に繋げていきたいです。